



目次

巻頭言： 学生参画による新たな附属図書館の展開 —学生諸君への期待—	矢部 敏昭	1
私の選んだこの一冊		
「神々の山嶺」 夢枕獏著/「同コミック版」 谷口ジロー著	榎木 久薫	3
「知的生産の技術」 梅棹忠夫著	景山 誠二	4
新入生利用案内		5
新しい図書館システム		9
トピックス		10

巻頭言

学生参画による新たな附属図書館の展開

—学生諸君への期待—

矢部 敏昭

1. 学生参画を期待して！

本学中央図書館及び医学図書館には、約68万冊の本が所蔵され、学生諸君がそれらの本を手にし、本と向き合い、数時間読み深めるならば、書かれている内容に関してその本の著者と語り合えることになる。学生諸君は少なくとも68万の先人たちと対話することになる。県内の公立図書館との連携により、本の冊数は約320万冊になる。学生諸君が専門的知識を学び、また、人とし

ての教養を身に付けることを望むならば、書物は君たちに将来に向けたさまざまな人間の生き方をはじめ、物事の様々な見方・考え方を知る機会となり、今をよりよく生きる道標となるであ



ろう。本は人によって書かれたものであり、また、君たちが大学生活を通して学び、

身に付けていく学問そのものも人間が作り上げてきたものである。言い換えれば、本を読み思想をめぐらし、探究していく学問それ自体を知ることが、人間を知らずして達することは難しく、人間を知り続けることなのかも知れない。

君たちには、高校時代とは比べられない程の自由な時間が保証されている。誰もが感じるこの大学生活を、自分の成長に向けた時間として、また他者との協同の時間として、さらに他の学生諸君のためにその自由な時間の使用を期待したい。

### 1) 中央図書館のエントランスが舞台に

一昨年から始めたビブリオバトルは、学生の手による学生諸君のパフォーマンスの舞台であり、本学中央図書館の入り口で行われた。“本を通して人を知り、人を通して本を知る”をモットーにしたこの事業は、本学の図書館に訪れた人の足を止め、時に聴衆となり時にバトラーの視聴者となる。

一人 5 分間という短い書評であるが、その人を通して本の魅力を知る。また、その本を通して読者の人間性と感性を知ることができる。チャンプを決める時には、立ち止まった聴衆がいつしか参加者の一人となって一票を投じるのである。

一昨年の風紋祭の期間に始めたこの事業は、外の活気あふれるにぎやかな雰囲気とは対照的に、学生諸君の異なる一面を感じ得た。その場の空気は、若者への将来への期待と予感を感じさせた。昨年は 5 月にも開催し、平常時のキャンパスに新しい風が流れ、回を重ねる毎にその風は確かに動き出している。

### 2) 学生諸君によるブックハンティング

県内数か所の本屋をはじめ、神戸まで足を延ばして学生諸君が学生諸君のために買

った本が、図書館に並べられる。それらの本が並ぶコーナーを横切る時、学生の存在を感じる。もし、展示までをも学生諸君の手によって飾られるならば！と、期待する。さらに、本ばかりではなく、図書館のいたるところに学生諸君の手による展示、装飾、絵画や季節の折り紙等の作品を目にすることができれば、表題に一步近づいた附属図書館となろう。

昨年度は、さらに県立図書館にブックハンティングに行き、また、留学生による事業も新たに企画した。世界 30 国から集まる留学生を含めて、学生諸君が、学生諸君の手で、学生諸君のために附属図書館の運営に参画することを期待したい。

### 2. 学生は学生の学習と生活の専門家

学生は学習や生活の問題についての専門知識を代表する存在である。

学生諸君の問題を、学生諸君が相談役になり、共に解決していく。日々の授業のあいまいな事柄や不確かな点を先輩が後輩に教え、また、大学院生が学部学生に解決に向けた示唆を与える。インターネットを駆使して、指導者になってもらえる先輩を探し、ラーニングコモンズで学習する光景を期待したいのである。

学生諸君が自ら動き出さない限り、キャンパスは変わらない。学生諸君が自ら抱えている課題や問題は、その深淺さをはじめ内容も異なる。学問の探究の過程に人間の理解が不可欠であるならば、相談を持ちかける側とそれを受け止める側の両者にとって、人間を知るとてもよい機会になると思われる。

(やべ としあき :

副学長 (附属図書館長、IT 担当)、  
地域学部教授)

夢枕獏『神々の山嶺』（集英社）

谷口ジロー 同コミック版（集英社）

榎木 久薫

私の専門は日本語学です。しかし、学に志すよりずっと前にヨットに乗り始め、四十代半ばまでは、よく外洋ヨットレースに出場していました。

外洋ヨットレースでは、スタートするかどうかの判断は艇長に委ねられ、スタートすればどんな海況になろうとレースは続行されます。私もレースでは、ずいぶん過酷な海況を経験しました。

海という自然は本来人間の生存を許容しないもので、その過酷さは、命の織りなす自然のような、これもまた生きる営みなのだという共感的な理解の外にあるものです。

『神々の山嶺』は、舞台を山に換え、人間の生存を許容しない自然の中に技術と装備を持って入って行き、そこで何かを成し遂げようとする男の苦闘の物語です。

主人公は羽生丈二。その性格故に単独登攀をするようになったクライマー。物語は、羽生がエヴェレスト南西壁冬期無酸素単独登頂に向かって行く姿を、山岳カメラマン深町誠の目を通して描いています。

作者は夢枕獏。夢枕は、子どもの頃親に連れられて登山を始め、後にはエヴェレスト登山隊のベースキャンプにも行ったことがあるようです(ベースキャンプの標高5,400メートルは、観光気分で行ける高度ではな

い)。

執筆には、その登山経験が生かされていると思いますが、私には、夢枕獏は依り代で、本当の作者は、山に生き山に死んだ、数多くの山男山女の死霊生き霊のように思えてなりません。その死霊生き霊たちが、山で見たもの、感じたこと、思ったことが描かれているように思います。そして、人の世界にもどった者は、そこで流れた濃い時間が忘れられないものです。

この小説を読んでも、賢くもならなければ立派な人にもなりません。小説を読む悦びは味わわせてくれると思います。

谷口ジロー作画のコミック版もお薦め。最終話までは、原作にほぼ忠実に描いています。谷口に本格的な登山経験はないと思いますが、山の絵の臨場感が徒ならない。絵から、高山の寒さと強風と空気の薄さがしみ出て来そうです。

(えのき ひさしげ) :

地域学部教授 附属図書館委員)

○鳥取大学附属図書館の所蔵

中央図書館 新書・文庫コーナー

請求記号：081：SEB:4-3-(9-10)

(コミック版) 請求記号：081：SEB:た-66-(1-5)

## 梅棹忠夫「知的生産の技術」(岩波新書)

景山 誠二

30 数年余り前、本学医学進学課程時代に本書を読んだ。専門科目を前にした2年間、気持ちに少し余裕があり、受験にうまく対応できなかった気分を解消したい時期であった。このように、整理された思考方法が欲しかったときに本書に出会い、強い興味を覚えた。

2015年の今、再度購入してみた。2014年時点で第93刷とある。多くの人々に支持され、今も読者が絶えないということだろう。「はじめに」で、昔のように立ち止まった。「大学は学問をおしえるところではない、学問のしかたをおしえるところだ」とある。学生であった私の不満は、今では教員としての私に突き刺さってくる。「秩序としずけさ」の項では、「知的生産の技術」が、能率の問題ではなく、技術論にとどまらないことを論じている。その到着点は、「生活の『秩序としずけさ』がほしいから」とある。医学になぞらえれば、「医学研究は、人生の楽しみや嬉しさを患者さんに取り戻すことであり、人並み優れた発見や発明は、単に方法にすぎない」と教えてくれているように、読み返した。

実は、本書の内容は、学生であった当時の私に整理された思考をくれなかった。むしろ、この思考方法に憧れるばかりに、この方

法を踏襲しなければ、気が済まなくなった。その結果、かえって作業に時間がかかるといふ悪循環に入ってしまった。無論、これは、著者の責任ではない。自分の生活に合った方法論にまで昇華できないことが、問題であった。

この迷いは、今も完全には解消していない。しかし、30年余りを経て、最終目標を達成するために、部分的な成功体験を無視できるなど、少しは柔軟になれたかもしれない。おそらく、これも本書を含めた、多くの本との出会いがくれた貴重なきっかけのお陰だと思う。これまでの人生の中で、本は、課題を解決してくれなかったけれど、かけがえのない話し相手であった。

著者は、5年前に逝去されたし、知的生産の技術もパーソナルコンピューターを基本に考える時代になった。様々な努力によって進歩した道具を使って、「知的生産」を幸せや喜びの生産につなげたい。その発想の原点を想うために、ぜひ一読をすすめたい。

(かげやま せいじ) :

医学部教授 附属図書館委員)

○鳥取大学附属図書館の所蔵

中央図書館 新書・文庫コーナー

請求番号 081 : IS:B-F93

## 新入生の皆さん！

### 鳥取大学附属図書館（中央図書館・医学図書館）

### について紹介します

入学おめでとうございます。

鳥取大学附属図書館は、湖山に中央図書館、米子に医学図書館があります。

図書館は本を借りるだけの場所ではありません。グループ学習、レポート作成や語学勉強など、大学生活の中心となる空間として大いに利用してください。

また、附属図書館では、学生の皆さんと一緒に下記のような図書館活動を行っています。一緒に活動してみませんか。

#### 学生選書ワーキンググループ

（中央図書館）

選書（図書館の本選び）を中心として、「学生の視点から図書館をより良くする」ことを目的に活動する学生グループです！



#### ブックハンティング

（中央図書館・医学図書館）

毎年2回、書店に出向いて、選書を行っています。

中央図書館では、神戸の大型書店で選書も行っています。皆さんのご参加を待っています。



#### ビブリオバトル

（中央図書館・医学図書館）

ビブリオバトルとは、5分間で本を紹介し、紹介された本の中から一番読みたい本(チャンプ本)を選ぶ、知的書評合戦です。

昨年は風紋際で開催し、8名のバトルによる熱戦が繰り広げられました。





## 開館時間

(中央図書館・医学図書館)

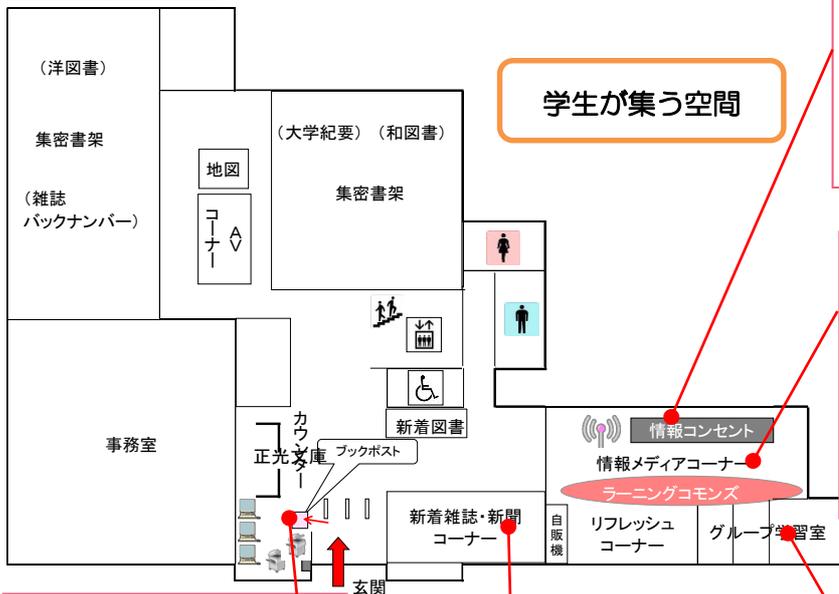
開館時間	平日	8:40~23:00	(休業期は 8:40~17:00)
	土日祝日	9:00~17:00	(休業期は 閉館) (試験期間は 9:00~23:00)
休館日	年末年始、夏季一斉休業日 (各館ホームページでご確認ください)		

## 施設案内

# 中央図書館

### 中央図書館 1F

○全館蓋付き飲み物はOK。  
○ラーニングcommons内リフレッシュコーナーのみ軽食OK。ただし、パソコン近くでは**飲食禁止**。



### ラーニングcommons

人数や目的に合わせて  
組合せ自由です。



### 学生が集う空間

### パソコンコーナー

40台のパソコンを利用できます。



### カウンター

図書の貸出返却、グループ学習室の受付など。



### 新着雑誌・新聞コーナー

新着雑誌・新聞が読めます。



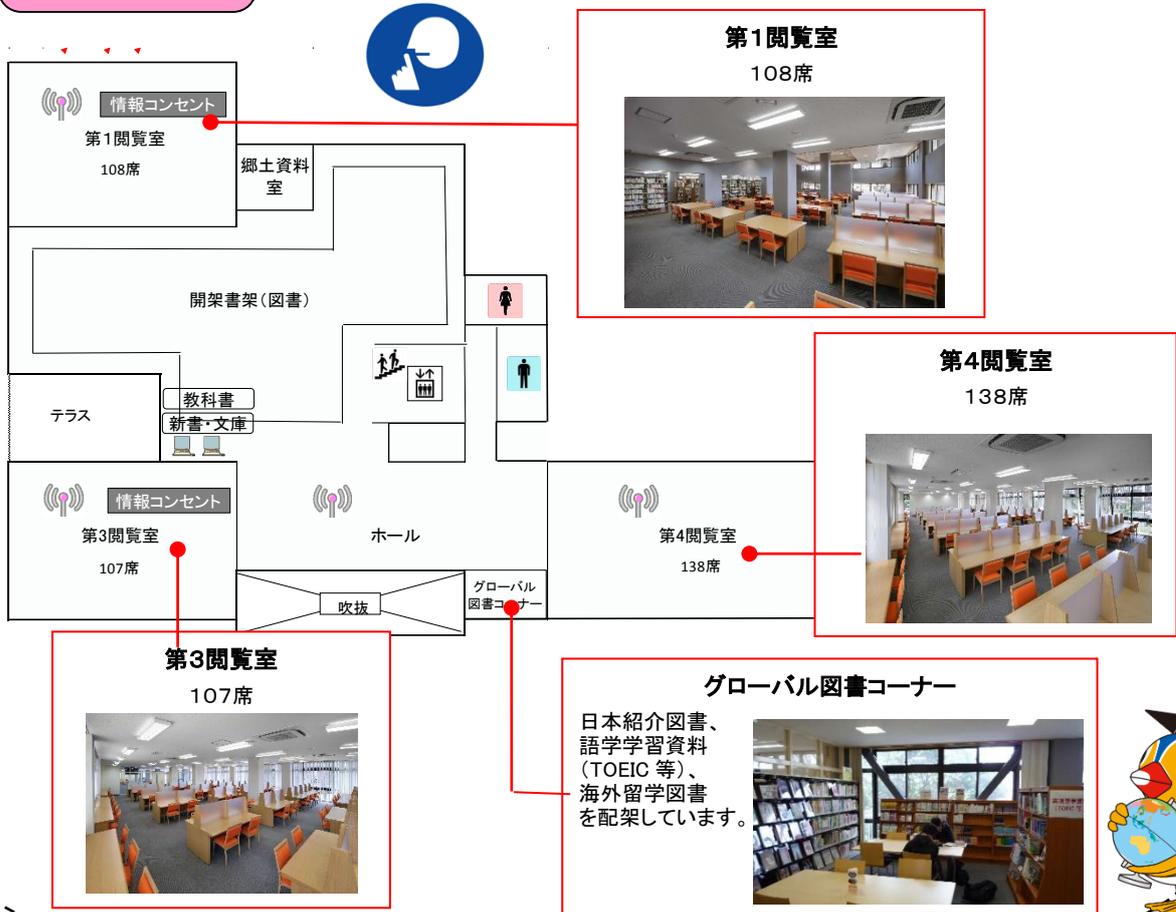
### グループ学習室1, 2, 3

複数人で学習、研究等を行う際に  
利用できます。  
6名(2室)12名(1室)



中央図書館  
2F

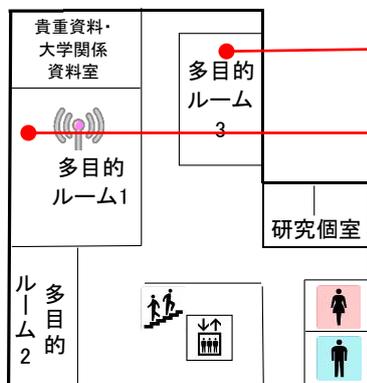
静かな学習空間



中央図書館  
3F

多目的ルーム 3

複数人で学習、研究等を行う  
際に利用できます。  
12席



多目的ルーム1

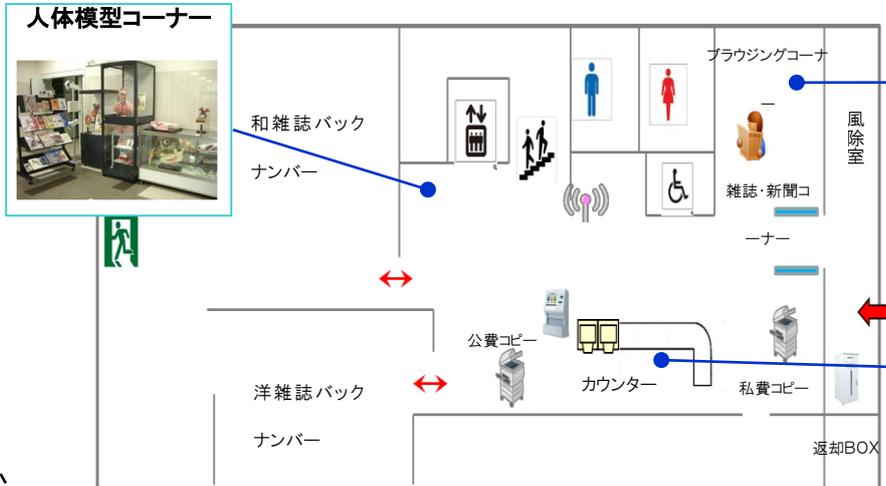
講演会、研究会、セミナー等に  
利用できます。  
42席



# 医学図書館

## 医学図書館 1F

○全館蓋付き飲み物はOK。  
ただし、パソコンルームは**禁止**。  
○ブラウジングコーナーのみ軽食OK。



**ブラウジングコーナー**  
新着雑誌、新聞等を配架。



**カウンター**

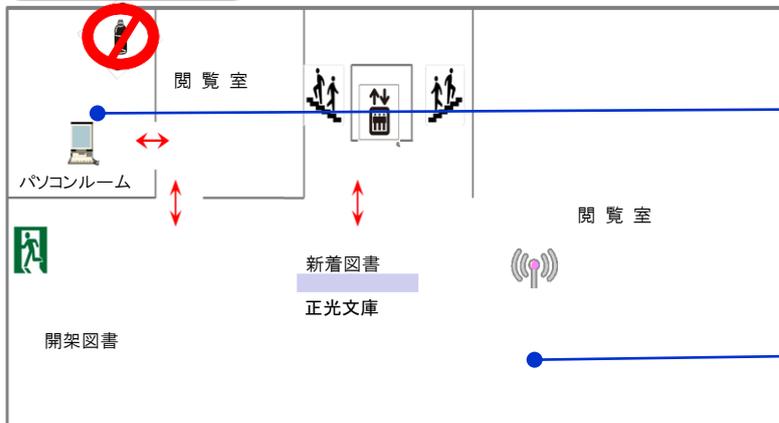
図書の貸出返却、グループ学習室の受付など。



## 医学図書館 2F

静かな学習空間

○パソコンルームは**飲食禁止**です。



**パソコンルーム**  
20台のパソコンとAVブース4台  
を利用できます。



**閲覧室**

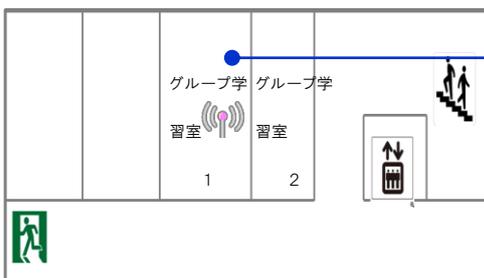


## 医学図書館 3F

**グループ学習室**

複数人で学習、研究等を行う  
際に利用できます。

1: 17名  
2: 8名



## 新しい図書館システム

平成 27 年 3 月より図書館システムが新しくなりましたのでご案内いたします。

### OPAC (オーパック : Online Public Access Catalog) 検索機能

検索機能がより向上し、図書の表紙も表示されわかりやすくなりました。

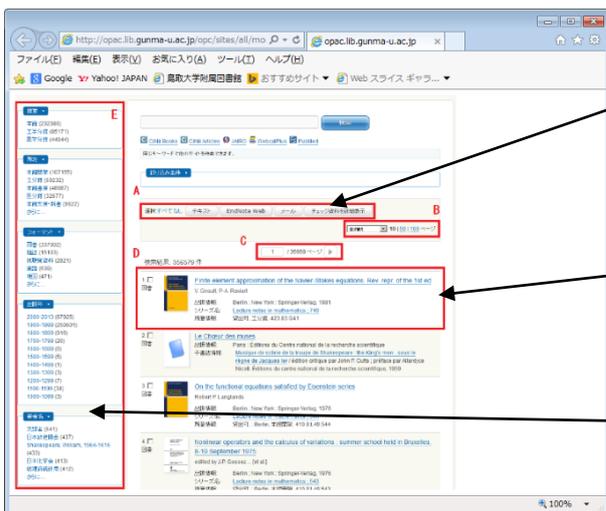
#### ○初期画面



○検索ボタンで鳥取大学図書館の蔵書を検索。  
○下記アイコンをクリックすると、検索語を再入力せずに、CiNii Books、鳥取県内図書館横断検索などで探すことができます。

○詳細検索：タイトル、著者名、ISBN等で限定して検索したい場合はこちら

#### ○検索結果画面 (簡易)

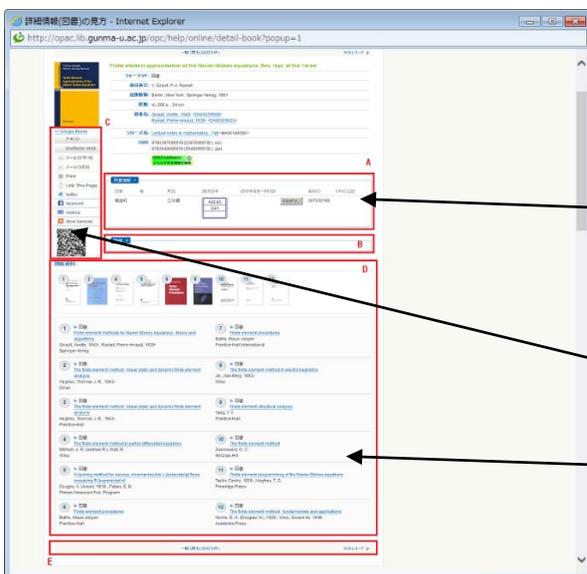


○検索結果を EndNote や Text に保存することができます。

○資料の書誌情報が表示されます。  
○資料の配架場所や貸し出しの状況がわかります。

○検索結果を、著者名、主題、出版年などで絞り込みできます。

#### ○検索結果画面 (詳細)



○資料の配架場所や貸し出しの状況がわかります。  
○貸し出し中の資料は、返却予定日がわかります。さらに、貸し出し中の本を予約できます。

○書誌情報を EndNote や Text に保存することができます。

○検索した本と関連した本が表示されます。

## 新しい図書館システム

### グループ学習室 Web 予約申し込み機能

図書館ホームページの My Library からグループ学習室の予約ができるようになりました。

#### ○ My Library 画面

The screenshot shows the My Library web interface. On the left, there is a navigation menu with a red box around the '予約' (Reservation) section. A callout bubble points to this section with the text '利用する館の施設予約をクリック' (Click on the reservation of the facility you use). The main content area shows the reservation form for a 'グループ学習室' (Group Study Room). A red box highlights the '施設・日付を指定し予約を行う (1件予約)' button. A callout bubble points to this button with the text 'クリックすると、下に画面が表示されます。' (Clicking will display the screen below). Another red box highlights the date and time selection fields, with a callout bubble pointing to them with the text '予約日、利用時間 (1日3時間まで) を入力' (Enter reservation date and time (up to 3 hours per day)).

## トピックス

### インターンシップ実習生を受け入れました (医学図書館)



実習生が作った啓発ポスター

医学図書館では、米子工業高等専門学校からインターンシップ実習生を、平成 26 年 9 月 8 日～12 日までの 5 日間受け入れました。

実習生は、カウンター業務、図書、雑誌等の目録業務を体験しました。また、9 月の防災月間に合わせて、「防災：知っておきたい災害の 怖さ！ 対策！！ 原因！！！」をテーマに展示コーナーを作成していただきました。様々な図書館業務に対しても最後まで積極的な姿勢で実習をしていただきました。

## 平成26年度も神戸でブックハンティングを行いました

中央図書館では、平成26年11月30日に神戸ジュンク堂書店三宮店でのブックハンティング(学生による店頭選書)を行いました。参加者も昨年以上の総勢21名の学生が参加し、254冊の図書を選書してきました。2階から5階までが本を扱う大型書店は県内にはなく、学生たちも満足した様子でした。



本を探す学生たち

## 国立大学図書館協会中国四国地区協会ワークショップ・実務者会議を鳥取大学で開催



エントランスで解説する尼川講師

平成26年12月18日～19日に平成26年度国立大学図書館協会中国四国地区協会によるワークショップ及び実務者会議を鳥取大学附属図書館で開催しました。

1日目のワークショップでは、「インターネットになく図書館にあるもの-来館型図書館を考える-」をテーマに、県立図書館の小林課長による「鳥取県立図書館の活発な人的サービスと空間づくりの基本」と題した講演と空間演出コンサルタントの尼川講師によるワークショップが行われました。ワークショップでは、中央図書館のエントランスから2階まで歩き、利用者目線を体験することで、来館型図書館空間の構築について理解を深めました。

2日目の実務者会議は、各大学図書館のラーニング・ commonsの写真を参考に、機能的な空間や快適な空間を提供し、学生に学修を促す工夫などについて議論がなされました。

## 相互職員派遣研修（県立図書館職員）を実施しました

平成26年度の鳥取県立図書館との相互職員派遣研修を、中央図書館で実施しました。

今年度は、1月20日～22日の3日間、県立図書館職員を大学図書館で受け入れ、電子ジャーナル、データベースやILL(相互貸借)などの業務を行いました。

また、1月21日から23日には大学図書館から県立図書館へ職員を派遣しました。



研修中の県立図書館職員

## 学生、留学生による県立図書館蔵書ブックハンティングを実施しました

初めての試みとして、2月18日に学生選書ワーキンググループの学生5名による県立図書館

ブックハンティングを実施しました。

鳥取県立図書館職員による館内案内の後、大学図書館にはない図書を選書しました。選んだ本は1か月間、大学図書館で貸し出しました。

また、2月26日には留学生2名による県立図書館ブックハンティングを行いました。留学生2名の協力で、留学生のニーズに合った図書、雑誌を借りることができました。



学生選書 WG メンバーと県立図書館職員



真剣なまなざしの留学生たち

## グローバル図書コーナーを設置しました



TOEIC 図書で学習する学生たち

中央図書館2階ホールにグローバル図書コーナーを設置しました。留学生のための日本紹介図書や県立図書館から借りた中国語、韓国語の資料が利用できます。

また、学生の語学学習図書や海外留学のための図書などを配架していますのでご利用ください。

## 中央図書館内の雑誌コーナーなど模様替えしました

中央図書館は、館内を一部改装しました。

- ① 雑誌コーナーの改修 新着雑誌がより見やすく、手に取りやすくなりました。
- ② ラーニングコモンズ内に可動式机を導入 人数、用途に合わせて利用ください。
- ③ 壁面大型ホワイトボード設置（グループ学習室3） グループでの学習や研究等で大型のホワイトボードを活用してください。



新着雑誌コーナー



ラーニングコモンズ



壁面大のホワイトボード

## 鳥取大学附属図書館報 第125号 (2015年4月)

〔編集・発行〕鳥取大学附属図書館

〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101番地 [TEL] (0857)31-6728 [FAX] (0857)28-6346

[E-Mail] [tosyokan-p@adm.tottori-u.ac.jp](mailto:tosyokan-p@adm.tottori-u.ac.jp) [ホームページ] <http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>

Copyright (C) 鳥取大学附属図書館 【本館報について一切の無断転載を禁止します】



鳥取大学  
Tottori University